

令和元年度（平成30年度実施分）個別施策評価シート

①総務 委員会

評価する個別施策	広報活動及び情報提供の推進 ・市政に関する情報、市民生活や市民活動に関する情報を広報誌、インターネット、ケーブルテレビなどの多様な媒体を利用し迅速かつ詳細に提供します。 ・市政に関する情報の積極的な提供により、市政への関心と参加意識の醸成を図ります。
----------	--

項目別評価 ※評価欄の該当項目に○印を付け、判断理由・評価コメント欄は必ず記入してください。

評価項目	評価基準			判断理由・評価コメント	
	点数	チェック	評価点		
個別施策の実現に向けて順調か	概ね順調	76～100		60	順調に進んでいる点 ・市民向け、市外在住者向けの二本立てに事業が実施されている。 ・市民向けは事業PRが出来ている。
	どちらかといえば順調	51～75	○		
	どちらかといえば遅れている	26～50			遅れている点 ・シティプロモーションにおける、定住者増を目的とした事業のPRが不足している。 ・市政への関心と参加意識の醸成が図られているとは思えない。
	遅れている	0～25			
構成する事務事業は、個別施策を実現するために有効か	個別施策実現のために必要な内容が不足していないか			・PR大使を活用する等、半田市の売り込み、又は半田市の知名度が向上する事業。	
	無駄な事業・内容はないか (不要な事業、類似事業を含む)			・なし	
	その他コメント			・市議会としてもPRのサポートを行う。	
施策の今後の方向	注力すべき事業・内容はあるか。どのように改善するか (事業自体はあるが、改善をすべき内容を記載。委託も。)			・シティプロモーションを専門に担う職員を配置すること。 (参考：他の自治体では「シティプロモーション課」を設置している自治体もある。) ・民間等の専門スキルを有する人材を活用すること。 ・教育、福祉・医療施設、飲食系店舗が充実し、子どもから高齢者まで住みやすいまち半田の魅力を前面に表した、わかりやすいPRを行うこと。 ・市民が関心を持てる、広報誌・ホームページに改善すること。 (広報事業へのアンケート調査の実施)	
	追加すべき事業はないか (事業自体無い、あるいは、不足している内容を記載)			・市政への関心、又は半田市の知名度が向上する事業。 ・子育て世代に向けたインパクトのある施策。	
	廃止すべき事業・内容はあるか			・なし	
	その他コメント (不要だが廃止しない場合の理由、などを記入)			・なし	
その他コメント	・今回、子ども医療費助成のマスコミ報道で、結果的に東海市のマスコミ活用で半田市のイメージダウンとなった。マスコミとのコミュニケーションにも努力を！				

令和元年度（平成30年度実施分）個別施策評価シート

②総務委員会

評価する個別施策	防災拠点とネットワークの整備 ・地域の防災拠点を充実し、安全な避難場所や避難路の確保を図ります。 ・防災行政無線の整備やケーブルテレビなどを活用した防災拠点のネットワーク化と、市民への情報提供の充実を図ります。
----------	--

項目別評価 ※評価欄の該当項目に○印を付け、判断理由・評価コメント欄は必ず記入してください。

評価項目	評価基準			判断理由・評価コメント	
	点数	チェック	評価点		
個別施策の実現に向けて順調か	概ね順調	76～100		55	順調に進んでいる点 半田市の地域防災計画では無線機の配置や、屋外スピーカーの設置完了など、整備は進んでいる。 遅れている点 ・災害時や防災時の市民への情報提供は、現在の防災無線やケーブルテレビだけでは十分ではない。（現実に情報を得られない、聞こえない所がある）
	どちらかといえば順調	51～75	○		
	どちらかといえば遅れている	26～50			
	遅れている	0～25			
構成する事務事業は、個別施策を実現するために有効か	個別施策実現のために必要な内容が不足していないか			・環境が異なる市民に確実に伝えるための情報伝達手段をどう想定し、事業を行っているかが不明確である。（それにより防災無線、屋外スピーカーの設置数や配置、機能の適正可否を判断）	
	無駄な事業・内容はないか （不要な事業、類似事業を含む）			・なし	
	その他コメント			・なし	
施策の今後の方向	注力すべき事業・内容はあるか。どのように改善するか （事業自体はあるが、改善をすべき内容を記載。委託も。）			・屋外スピーカーが聞こえない市民への情報提供手段の改善。 ①屋外スピーカーの充実又は戸別受信機の設置。 ②屋外スピーカーは悪天候、風向きに左右されないよう整備すること。 ・アナログ無線機からデジタル無線機への早期更新を行うこと。 ・停電時や悪天候時を含めた情報伝達手段の確立のための地域防災計画の根本的な見直しを行うこと。	
	追加すべき事業はないか （事業自体無い、あるいは、不足している内容を記載）			・各戸の状況の把握のため、災害時の情報取得に関するアンケート調査を市内全世帯に実施し、一人も置き去りにしない情報伝達の手段を確立すること。（防災ラジオ、戸別受信機等の新たな機器導入） ・災害時優先携帯電話の導入を検討すること。	
	廃止すべき事業・内容はあるか			・なし	
	その他コメント （不要だが廃止しない場合の理由、などを記入）			・なし	
その他コメント	・外国人への情報伝達も検討すること。 （補足：280MHzデジタル同報無線システムは5か国語に翻訳、情報伝達が可能である）				

令和元年度（平成30年度実施分）個別施策評価シート

③総務 委員会

評価する個別施策	犯罪を防止する地域や家庭の備え ・地域での安全点検を実施し、樹木などによる見通しの悪い場所の解消や安全対策を推進します。 ・各家庭での防犯行動を強化するために門灯や玄関灯を点灯する一戸一灯運動の推進や防犯機器の設置などを促進します。
----------	---

項目別評価 ※評価欄の該当項目に○印を付け、判断理由・評価コメント欄は必ず記入してください。

評価項目	評価基準			判断理由・評価コメント
	点数	チェック	評価点	
個別施策の実現に向けて順調か	概ね順調	76～100		25 遅れている点 ・半田市振り込み詐欺等被害防止に関する条例制定後、取組み状況が変わらない。（条例にある市の責務を果たしているか疑問である） ・特殊詐欺被害が半田署管内ワーストである。 ・振り込み詐欺被害は減少せず、住宅侵入犯罪件数も高いままである。 ・高齢者に対し被害状況を伝える機会が少ない。
	どちらかといえば順調	51～75		
	どちらかといえば遅れている	26～50		
	遅れている	0～25	○	
構成する事務事業は、個別施策を実現するために有効か	個別施策実現のために必要な内容が不足していないか			
	無駄な事業・内容はないか（不要な事業、類似事業を含む）			・なし
	その他コメント			・なし
施策の今後の方向	注力すべき事業・内容はあるか。どのように改善するか（事業自体はあるが、改善をすべき内容を記載。委託も。）			・警察署や金融機関との連携強化。 ・特殊詐欺防止のための啓発事業の強化。 ①地区、老人会行事、敬老会、市の行事等で防犯教室を行うこと。 ②市民への市内又は近隣の特殊詐欺被害の情報提供を行うこと。（例：パトネット等で特殊詐欺被害についても情報提供する） ③犯罪手口の紹介やセミナーの実施。
	追加すべき事業はないか（事業自体無い、あるいは、不足している内容を記載）			・特殊詐欺防止アクションプログラムを作成すること。（先進自治体を参考に） ・通話録音装置の普及促進。
	廃止すべき事業・内容はあるか			・なし
	その他コメント（不要だが廃止しない場合の理由、などを記入）			・なし
その他コメント	・今後、総合計画に取り組み等を載せていくべき。			